

## ボランティア紹介

### あしたばの会

高齢者や障がい者の方の外出のお手伝いをしています。通所介護事業所(デイサービスセンター)や福祉施設からの依頼を受け、買い物や公園の散策などの外出に同行し、利用者の方の車いすや移動、荷物を持つなどの付き添い介助を行っています。会員は、利用者の方の社会参加を促す野外活動に、一緒に楽しみながら活動しています。

市内の福祉施設などから、多くの活動依頼を受けています。会では、一緒に活動していただける方を募集します。介助の経験がない方は、車いすの介助方法など、基礎講習を開催しますので、下記まで連絡してください。

多治見市ボランティアセンター 電話(25)1131 <担当>古山



地域包括支援センター開催

## 好評でした 介護家族講座

5月26日、総合福祉センター(太平町)で、『在宅医療』をテーマにした介護家族講座を開催し、23人が参加しました。講師の浜田茂彰医師(浜田・浅井医院院長=太平町)は、在宅で安心して介護できるように、医師の訪問診療を依頼する方法や、信頼できるかかりつけ医の探し方など、介護者から寄せられた質問に一つずつ丁寧に答え、参加者は熱心に話を聴いていました。また、病院の医療相談室での相談方法や民生児童委員の紹介もあり、「とてもためになった」と、好評でした。

講座終了後に行った交流会では、介護についての話題で参加者同士の会話が弾み、会場はとても和やかな雰囲気でした。



### 多治見のお元気さん

今月のお元気さんは、趣味の野菜作りを生かした活動に取り組む萩本さん夫婦です

野菜作りが好きな萩本さん夫婦は、知的障がい者の方が通う就労支援施設『優が丘』(旭ヶ丘)で、野菜作りを手伝うボランティア活動をしています。妻の路子さんは、地域の野菜作りのクラブに参加し、夫の成彦さんの退職後には、地域の子もたちと野菜を作る活動に、2人で協力しています。

萩本さん夫婦は、優が丘に野菜を買いに来た方から「とてもおいしかったのでまた買いに来た」と聞くと、「本当にうれしくて、やる気が出てきます。施設に通う皆さんと一緒に、安全な野菜を作りたいです。」と、生き生きとした笑顔で話されました。



優が丘の畑で野菜を育てる萩本さん

## 社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。

※社会福祉法人=社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

東日本大震災以降、エネルギーが不足する恐れがあることから、省エネルギー対策が求められています。本会においても、管理・運営する施設において、さまざまな省エネルギー対策に取り組んでおりますので、ご協力をお願いします。

総合福祉センター(太平町) 3階 老人福祉センター浴場

8月1日から入浴できる時間を変更します → 午前10時30分~午後1時30分



リサイクル紙と植物性大豆油インキを使用しています。